



木造軸組工法ならではの自由度の高い間取り

高い設計力の秘訣

そんな加藤建設の住まいの特徴は、フルオーダーで建てる家。今風のデザインから、和洋折衷、数寄屋造り風の和邸宅まで幅広く対応する。設計段階での図面変更も柔軟に対応し、お客様からの評判も良い。また、職人を自社スタッフとして長年育成し続けていることから、住宅の構造だけでなく、要望があれば建具なども手作りで対応できることも強みだ。特にオリジナルの仏間は好評で、非常に凝った装飾を施した造作で、オリジナルティあふれる空間を実現している。

そんな設計力・現場対応力が評判を呼んでか、かつてはメイン顧客層だったシニア世代に加え、子育て世代のお客様も増加傾向にある。匠の技術研鑽やコストカットだけに気を取られることなく、最新の住宅トレンドにもアンテナを張り巡らせていることが、若い世代を呼び込み始めているに違いない。

しかし、加藤建設は住宅展示場を持っていない。家づくりの初めにはまず住宅展示場で情報収集をすることが当たり前のいま、どのように新規顧客を獲得しているのだろうか。

「小さなコミュニティの中で長年やっていくために、顧客満足度の高さを最優先に考えています。ですから、オーナーさんとの仲も非常に良好で、現場見学会にも快くご協力い

ただけています。ウチの場合は、それがモデルハウス代わりですね。」

オーナーの協力で開催する構造・入居宅見学会は、月におよそ2回の頻度で行う。家づくりを経験された方々がどこに悩み、どこにこだわったかを実際にご覧いただくことで、お客様のイメージを固め、商談もスムーズに進むという。

常に お客様のために

お客様満足度を第一に考える加藤建設は、アフターサービスにも余念がない。地域密着型の会社ならではのきめ細やかな対応力で、オーナーとの良好な関係を構築している。

「当初アフターサービスを開始す



数寄屋造り風の本格和邸宅の実績も多い

る際は、勇気が必要でした。体制の整備やクレームへの対応など、手間やリスクが大き感じたんです。でも、むしろ定期的に訪問し細かな疑問や不安を都度フォローしていくことで大きなクレームを減らす効果につながっています。」

建築後は1・3・6か月後に訪問点検を行い、入居後の住まい心地や細かい調整を実施。その後も、1・2・3・5・8・10・12・15年の節目ごとに訪問点検行う徹底ぶりだ。

さらに特徴的な取り組みもある。『お客様感謝祭』だ。毎年一回、オーナーとともに旅行にでかけ、日ごろの感謝を伝え、コミュニケーションを図るイベントである。東京日帰りツアーや富岡製紙工場視察など、毎年企画され、社長以下社員総出で対応している。

このように、きめ細やかかつオリジナルティあふれるアフターサービスで、地域に根差した事業を展開する加藤建設。将来のビジョンは、との最後の問いに、「南房総を拠点に営業エリアを拡大していくことですが、良い職人の確保が年々難しくなっているので、育成が重要ですね。」と、目標と課題を併せて語ってくれた。

ピカイチ社員

営業 鈴木 健一氏



Q.入社したきっかけは？

前職は建築業界ではありませんでしたが、二人目の子供が生まれることを機に、より安定した仕事を求めて転職しました。当初は現場の基礎工事担当としての面接でしたが、社長から人当たりの良さを買っていただいて、営業をやってみないかとお声掛けいただき、今に至ります。

Q.担当している仕事内容は？

入社2年目の新人ですが、営業としてお客様との窓口を担当させてもらっています。単独で任せられている

案件はまだありませんが、先輩たちと同行させていただき、勉強の毎日です。少しでも会社に貢献できるよう、見学会や感謝祭では常に率先して動くように心がけています。

Q.これから心がけたいことは？

家づくりは信頼が第一ですので、お客様の信頼を裏切らないよう、真摯な接客を心がけています。お客様にとっては人生で一番大きな買い物なので、最初は疑心暗鬼になりがちですが、安心していただけるような知識やふるまいを身に付けていきたいと思っています。一日でも早く立ち立って、会社に貢献したいですね。

KENICHI SUZUKI

Company Profile

【会社概要】

加藤建設 株式会社
代表取締役 加藤 仁
所在地 千葉県南房総市沓見12-1
電話.0470-46-3953
FAX.0470-46-3123
ホームページ
<http://www.katokensetsu.com/>

【会社沿革】

昭和47年 加藤建設有限会社 設立
平成2年 加藤建設株式会社に
商号変更
平成2年 有限会社南総エステート
(不動産業) 設立
平成25年 創業90年を迎える。

【事業内容】

木造注文住宅、リフォーム、
宅地建物取引業

加藤建設のこだわりPOINT

お客様満足度を第一に、 総檜で建てる木造軸組工法の住まい

社長からひとこと

この地域で喜ばれる家づくりのために、何代も引き継がれた住宅の建て替え、新しい宅地への独立や、子育て世代の新築や増築など、様々なニーズを持った方々のご相談をお聞きし対応していくことが最も重要な使命だと考えています。

